

第 42 回 鎌倉市民クリスマス 礼拝

総合進行役 古川 勉 神父 (カトリック雪ノ下教会)

- ・ 入堂 曲名「GRAZIOSO」 鎌倉ハンドベルコワイア
- ・ 前奏 オルガン奏楽 奏楽 (カトリック雪ノ下教会聖歌隊)
- ・ 招きの言葉 古川 勉神父 (カトリック雪ノ下教会)
- ・ 聖書朗読 (イザヤ 11 章 1～10 節) 北澤 洋司祭 (日本聖公会鎌倉聖ミカエル教会)
- ・ 聖歌/讃美歌: 「まきびとひつじを」 日本聖公会聖歌集 94 番 (聖歌隊による奉唱)
- ・ 聖書朗読 (ルカ福音 2 章 1～14 節) マルコ・ターディフ神父 (カトリック大船教会)
- ・ 聖歌/讃美歌: 「あめのみつかいの」 カトリック聖歌集 121 番 (聖歌隊による奉唱)
- ・ クリスマスメッセージ 難波信義牧師 (日本基督教団大船教会)
- ・ クリスマスの祈り 白井 献牧師 (日本キリスト教会鎌倉栄光教会)
- ・ 平和の挨拶
- ・ 献金奉納及び献金先紹介 上杉優太神父 (カトリック雪ノ下教会)
- ・ 主の祈り
- ・ 祝福の言葉/結びの祈り 上杉優太神父 (カトリック雪ノ下教会)
- ・ 後奏 曲名「BLESSING」 鎌倉ハンドベルコワイア
- ・ 退堂

聖書朗読 イザヤ 11 章 1～10 節

- 1 エッサイの株から一つの芽が萌えいで
その根からひとつの若枝が育ち
- 2 その上に主の霊がとどまる。
知恵と識別の霊
思慮と勇気の霊
主を知り、恐れ敬う霊。
- 3 彼は主を恐れ敬う霊に満たされる。
目に見えるところによって裁きを行わず
耳にするところによって弁護することはない。
- 4 弱い人のために正当な裁きを行い
この地の貧しい人を公平に弁護する。
その口の鞭をもって地を打ち
唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。
- 5 正義をその腰の帯とし
真実をその身に帯びる。
- 6 狼は小羊と共に宿り
豹は子山羊と共に伏す
子牛は若獅子と共に育ち
小さい子供がそれらを導く。
- 7 牛も熊も共に草をはみ
その子らは共に伏し
獅子も牛もひとしく干し草を食らう。
- 8 乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ
幼子は蝮の巣に手を入れる。
- 9 わたしの聖なる山においては
何のものも害を加えず、滅ぼすこともない。
水が海を覆っているように
大地は主を知る知識で満たされる。
- 10 その日が来れば
エッサイの根は
すべての民の旗印として立てられ
国々はそれを求めて集う。
そのとどまるところは栄光に輝く。

(日本聖書協会:新共同訳)

聖書朗読 ルカ福音書 2 章 1～14 節

- 1 そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。
- 2 これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。
- 3 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。
- 4 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデ町へ上って行った。
- 5 身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。
- 6 ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、
- 7 初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。
- 8 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。
- 9 すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。
- 10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。
- 11 今日「ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。
- 12 あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」
- 13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。
- 14 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

(日本聖書協会：新共同訳)